

図 - 3 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計976箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施する。
 < 超音波検査(肉厚測定): 941箇所、内面目視点検: 35箇所 >

2次系配管の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)

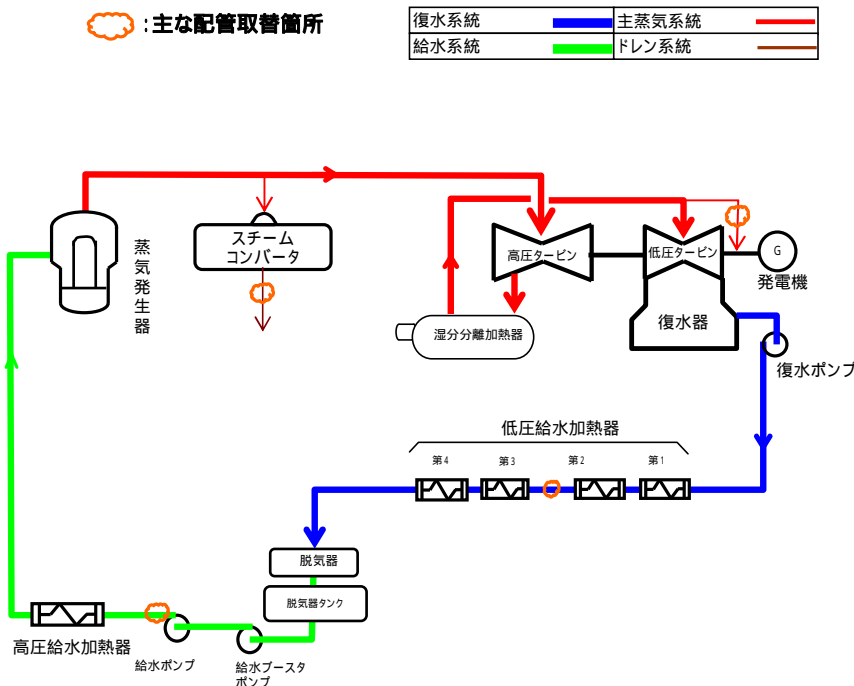
	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回点検開始時点での点検未実施部位	今回点検実施部位	今回点検実施後の点検未実施部位
主要点検部位	984	0	408	0
その他部位	1,829	0	533	0
合計	2,813	0	941	0

2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検
 高圧排気管の直管部35箇所について、配管内面から目視点検を実施する。
 その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査(肉厚測定)を実施する。

取替概要

過去の点検結果から減肉が確認された部位5箇所、減肉が確認された部位の類似部位11箇所、保守性・作業性を考慮して取り替える部位18箇所、合計34箇所について、ステンレス鋼または低合金鋼の配管に取り替える。

系統別概略図



【取替理由】

余寿命10年未満で減肉が確認されたため取り替える。(5箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 4箇所
 炭素鋼 低合金鋼 1箇所

減肉が確認された部位の類似部位を取り替える。(11箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 11箇所

配管の保守性を考慮して取り替える。(2箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 2箇所

配管取替による作業性を考慮して取り替える。(16箇所)

炭素鋼 ステンレス鋼 15箇所
 炭素鋼 低合金鋼 1箇所